

校長室から
(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 31

平成30年10月12日(金)発行

ある新聞記事より

朝日小学生新聞10/10(木)

3階の5年生教室の廊下端に、小学生向けの新聞が3紙置いてあります。
そこで見つけた記事です。是非、読んでみてください。

医学生理学賞 免疫力で治す方法

会見で、本庶さんは「多くの人に感謝したい。特に『あなたのおかげで病気がよくなった』といわれるとき、自分の研究に意味があったと感じられて何よりもうれしい」と語りました。本庶さんが研究した免疫は細菌やウイルス、がん細胞など体内の「異物」をや

ことしのノーベル医学生理学賞が発表され、京都大学特別教授の本庶佑さん(76歳)と、アメリカ・テキサス大学MDアンダーソンがんセンター教授のジェームス・アリソンさん(70歳)におくられることが決まりました。2人の研究は「免疫ではがんを治療できない」という常識をぬりかえ、がん治療の新たな希望として世界中で注目されています。(寺村貴彰、中田美和子)

新たながん治療の道ひらく

本庶佑さんがノーベル賞

免疫力でがんを治せないかと、多くの研究者が100年以上も取り組んできました。しかし、免疫のしくみを利用する方法(免疫治療法)では、がん細胞をなかなかやつけれませんでした。その原因を明らかにしたのが本庶さんです。免疫ではさまざまな細胞が働いています。そのなか

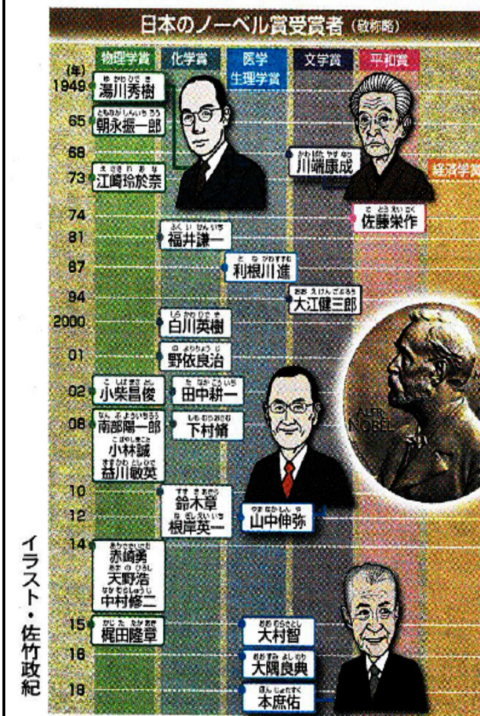
す。キラーT細胞は、ボタンがおされたかどうかで「自分の体の細胞か異物」かを判断しているのです。このしくみでがん細胞は

本庶 佑(ほんじょ たすく)さんから、みなさんへのメッセージです。

知りたいを大切に

本庶佑さんに子どもたちへのメッセージを聞きました。
Q(質問) 科学者をめざす子に、大切にしたいことは。
A(本庶佑さんの答え) 不思議だと思ふこと、知りたいと思う心を大切にしたい。教科書に書いてあることを信じず、常に疑うこと。本庶はもうなっているんだと、自分の目でものを納得するまであきらめない。ぜひ、そういう人に研究者をめざしてほしい。教科書には「いまの時点」での常識が載っている。それが全部正しかったら学問はいらないが、そんなことはない。教科書を書き換えることが、みなさんの手にかかっている。

満足いくまで貫く姿勢



ノーベル賞は、ダイナマイトの発明で財産を築いたスウェーデンの科学者アルフレッド・ノーベルの遺言で、1901年に始まりました。医学、理学、物理学、化学、文学、2018年はなし、平和、経済学の6部門が

あり、素晴らしい功績をのこした人や団体におくられます。亡くなった人は対象外。国籍や人種などの分けへだてなく、選ばれます。本庶佑さんをふくめて日本のノーベル賞受賞は26人。研究などの向き

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール47 まちがいを受け入れよう

人間はまちがいをおかすものだ。まちがいから学んで、先に進もう。
●だれでも「あんなことはしなければよかった」と思うようなまちがいをしでかす。自分がまちがいをおかしたことを認めて、そこから学ぼう。